

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は添付資料を参照のこと。								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「子どもと保育」、「情報と経営」、「福祉と健康」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	開学60周年～地域に根ざして～								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	毎回の振り返りシート(40%程度)、最終回のパネルディスカッションに関するレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。 レポート課題について								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学長 「自校史」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第2回	経営情報学科 准教授 藤野 裕 「時代とともに変化する経済学の考え方」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第3回	食物栄養学科 講師 半田 彩実 「食生活の変化と食物栄養学科の地域活動」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第4回	健康福祉学科 教授 中島 真由美 「人や社会とつながりWell-beingなまちづくり」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第5回	富山市長 藤井 裕久	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第6回	医療法人財団五省会 西能病院 診療技術部 栄養科 米原 恭子（管理栄養士） 「栄養の専門家としてはたらくということ」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第7回	幼児教育学科 准教授 嶋野 珠生	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第8回	シンポジウム	
	【予習】今までの講義内容を「振り返りシート」で復習し、疑問点や意見をまとめておく。	90分
	【復習】ディスカッションで出た質問や回答、解説、意見を不明点は調査し、まとめてレポートとして仕上げる。	90分

授業科目名	食生活論			科目コード	F111-10				
科目区分	専門科目 - 栄養士専門基礎科目 - 社会生活と健康		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	高等学校卒業程度の家庭科の知識		後継科目	公衆栄養学 ・ 、社会福祉論					
関連科目									
資格等 取得との関連	栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須								
授業の概要	栄養士の資格について、時代の移り変わりや栄養士の役割、栄養素の働きや体の構造、科学用語や実験器具など、専門科目を学ぶ前に覚えておくに役立つ基礎知識などを開設する。								
学習目標	栄養士・管理栄養士の歴史を踏まえ、健康であるための適切な栄養摂取の方法を考える能力を培うことを目標とする。								
キーワード	初年次教育 導入教育								
テキスト・ 参考書等	めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここから・ナビゲーション 第一出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養士・管理栄養士について理解できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	栄養士の取り巻く環境について理解し、生涯にわたり学ぶ姿勢がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	60		30						90
LO-2									
LO-3									
LO-4	10								10
LO-5									
備考	レポート課題については、チェックの後学生からの要望があれば返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養士・管理栄養士とは、職業倫理について理解する。	
	【予習】シラバスを読み、講義の内容や目的を抑えること。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第2回	第1回の振り返り、食生活・食文化の基礎知識	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第3回	第2回の振り返り 食生活・食文化の基礎知識について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】スポーツ栄養に関わる資格 公認スポーツ栄養士	90分
第4回	第3回の振り返り 日本の食生活の変遷と栄養士の誕生	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第5回	第4回の振り返り 学校給食について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】	90分
第6回	第5回の振り返り 朝食の重要性について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	120分
第7回	第6回の振り返り 食文化について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	240分
第8回	第7回の振り返り 献立作成について、校外実習への心構え	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	60分

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育者論 子どもと社会					
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史の変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度とする。 授業内では、グループワークやディスカッションを行う。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か - 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。 講義スライド	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容を教科書で確認する。 来週に向けて、！や？の出来事をメモしておく(来週の授業で使います)	60分
第2回	講義保育とは何か - 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。 課題シート	
	【予習】指定された教科書(第1章)の部分を読む	20分
	【復習】課題シートを完成する。 28日(木)研究室前に提出 課題写真	60分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。 遠隔授業	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	20分
	【復習】課題シートを完成する。	80分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】前回の内容を振り返っておく	20分
	【復習】教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解する。	100分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読む	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。	120分
第6回	発達観の理解 保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。	30分
	【復習】指針や要領等にかかれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。	30分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容及方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容及方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を再確認する。	40分
	【復習】第7回の課題シートを書く	50分
第8回	保育の内容及方法 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】課題プリントを来週の授業までに完成させておく。	60分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴 資料	
	【予習】教科書第3章を読む。	40分
	【復習】課題プリントを完成する。	150分
第10回	新しい保育制度を知る 子ども子育て支援制度の概要	
	【予習】教科書の指定部分を読む。	30分
	【復習】課題プリントを完成する。	120分

第11回	保育内容を考える 授業中の質問1から5	
	【予習】小テストの準備をする	40分
	【復習】小テストの内容の振り返りをしておく	120分
第12回	保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想	
	【予習】テキスト第5、6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。第14章 p193～を読む	60分
第13回	保育の歴史と思想3 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える 思想家の図	
	【予習】資料を読んでおく。 資料1 資料2	60分
	【復習】講義中に提示された歴史上の人物の特徴をまとめておく 小テストの準備	180分
第14回	歴史と保育者 シュタイナー 諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】小テストの準備をする	80分
	【復習】小テストの内容を再確認しておく。 授業アンケートをする際にはこちらをご覧ください アンケートの参考に	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認 期末課題について 期末課題シート	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	120分
	【復習】授業アンケート前に 試験の準備をする。	160分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子ども家庭支援の心理学					
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義 								
キーワード	発達心理学 発達過程 学びの過程 乳幼児期の発達								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代編(2019)「保育の心理学」 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度（発表の態度や表現、グループワークへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり返る思考する力など）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子どもの発達の見方・考え方 子どもの発達を理解することの意義 初回授業 赤ちゃんに関するアンケート 初回授業 赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.14 - 19および24-25を読んでおく。	20分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-19および24-25を復習しておく。	40分
第2回	子どもの発達と環境 オンライン受講者用	
	【予習】教科書pp.20-23を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.20-23を読み直し復習する。	90分
第3回	初期経験の重要性と生涯発達の視点	
	【予習】教科書pp.30-36を読んでおく。	90分
	【復習】スライドを見直す。 教科書pp.30-36を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.58-70を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト1を行い送信する。 切2022/5/18中	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達 アタッチメント	
	【予習】教科書pp.124-135を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.124-135を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達 アタッチメントと情動調整、自己制御、社会性発達	
	【予習】教科書pp.124-135を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.124-135を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会情動的発達 自己意識、感情発達、心の理論	
	【予習】教科書pp.40-56を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.40-56,78-79,92を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.72-86を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2を回答して送信する。 授業のスライドを見直す。 教科書pp.72 - 86を読み復習する。 参考までに：ヒグマに遭遇したらどうするか	90分
第9回	子どもの発達過程 言語の発達	
	【予習】教科書pp.88 - 103を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.88 - 103を読み復習する。	90分
第10回	障害と発達アセスメント、発達障がいの理解と支援	
	【予習】教科書pp.104 - 122を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.104-122を読み復習する。	90分

第11回	障害と発達アセスメント、発達障がい理解と支援 その2	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 書式：ワード文書 レポート書式をダウンロードしファイル名「保育の心理学第11回」として保存する。	90分
第12回	発達障害続きおよび虐待による臨床的問題と発達支援1	
	【予習】教科書pp.116 - 121を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト3 授業のスライドを見直す。資料を読んで復習する。 教科書pp.116 - 121を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	虐待による臨床的問題と発達支援2	
	【予習】教科書pp.116 - 121を読んでおく。	90分
	【復習】課題レポート： DVD「友田明美の仕事」視聴から学んだ、あなたが保育に活かしたいと思うことを、レポート書式を使用し、600字から800字以内で述べなさい。	90分
第14回	子どもの学びの過程と特性 学びに関する発達理論－動機付け、学習理論	
	【予習】教科書pp.80-87を読んでおく。	90分
	【復習】7/27課題 発達障害について小テスト提出。 小テスト4提出。	90分
第15回	乳幼児期の学びに関わる理論 遊びを通じた学び/乳幼児の学びの過程と学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.140-158を読んでおく。/教科書pp.160 - 186（第10章、第11章）を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.140-158を読んでおく。/教科書pp.160 - 186を読み復習する。	90分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	子どもと社会					
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようにすることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aはミニツツペーパーによる。 ・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツツペーパー、小レポート等を収めること。 ・レポート等に剽窃が確認できる場合は単位を不可とする。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。	
	【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。	45分
	【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート）。	45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。	
	【予習】第1章を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。	
	【予習】第2章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第4回	教育の思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。	
	【予習】第3章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第5回	教育の制度 教育を取り巻く教育制度および教育法規を概説する。なかでも、教育制度の原則である教育を受ける権利、教育の機会均等を理解する。	
	【予習】第4章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。	
	【予習】第5章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。	
	【予習】第6章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性和、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。	
	【予習】第7章を通読のこと	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと	90分
第9回	障害児教育の思想と歴史 障害と教育について概説し、いわゆる通常学校での教育の相対化と、教育の基本理念の重要性を理解する。院内学級での教育に触れることで、教育の場としての学校の意味についての再考を促す。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第10回	障害児教育の実践と展開 障害児教育実践の記録に基づいたディスカッションによって、働きかけとしての教育の多様性を理解する。三木裕和の教育実践記録についてのディスカッションをおこなう。ディスカッションを通して、教育の捉え方、着眼点等が異なることを体感してもらう。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションを踏まえて、障害と教育についてレポートを課す（小レポート）。	90分

第11回	<p>幼児教育の思想と歴史 教育実践記録の意義について、主に子ども理解の観点から概説する。保育者として教育実践記録（保育実践記録）を読むこと、書くことの重要性を理解する。</p>	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	<p>幼児教育の実践と展開 教育実践記録についてグループ別ディスカッションをおこなう。教育実践記録を集団で読み合うことの意義を理解し、保育者として集団の重要性を認識する。</p>	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	<p>現代社会と保育者 保育者に求められることと、教師に求められることの異同を理解し、自身の保育者像について考える。</p>	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	<p>教育と児童福祉の目的と目標 教育と児童福祉との関連について理解する。</p>	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	<p>現代教育の課題 講義のまとめを行い、自身の教育観について再考する。最終レポート草稿を持ち寄って、グループで検討会をおこなう。</p>	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

授業科目名	簿記演習			科目コード	M133-22				
科目区分	専門科目 - 会計科目 - 会計		担当教員名	藤野 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日商簿記3級合格者(レベル)対象。日商簿記検定2級の内容に一通り触れていることが望ましい		後継科目	管理会計 原価計算演習					
関連科目	財務会計 原価計算								
資格等 取得との関連	日商簿記3級、上級ビジネス実務士(領域2)、上級情報処理士(領域2) ウェブデザイン実務士(-)、秘書士(-)、ビジネス実務士(領域2)、情報処理士(領域2)								
授業の概要	日商2級の問題集の練習問題演習を中心とします。2級は商業簿記と工業簿記に分かれますが、商業簿記を中心とした問題演習を行います。 日商3級合格者(レベル)対象であることを理解して受講してください。								
学習目標	日商簿記検定2級練習問題レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
キーワード	日商簿記検定2級								
テキスト・ 参考書等	合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0 (TAC出版) 合格トレーニング 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0 (TAC出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】日商簿記2級レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
LO-2	【技能・表現力】								
LO-3	【思考・判断力】								
LO-4	【関心・意欲・態度】能動的で積極的な学習態度がみられる。								
LO-5	【人間性・コミュニケーション力】								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4						20			20
LO-5									
備考	電卓(12桁)を持参すること。(スマートフォン等で代用することは禁止)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要や目的を把握する。	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第2回	商品売買(分記法、売上原価対立法、三分法)について理解する。また、棚卸減耗損、商品評価損について理解する。	
	【予習】3級の商品売買(分記法、三分法)について復習する。	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第3回	現金および預金	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第4回	有形固定資産	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第5回	リース取引	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第6回	無形固定資産等と研究開発費	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第7回	引当金	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第8回	外貨換算会計	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第9回	税金	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第10回	株式の発行	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分

第11回	剰余金と配当の処分	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第12回	決算手続	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第13回	収益・費用の認識基準	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第14回	伝票式会計	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分
第15回	課税所得の計算	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。(できない問題は、できるようになるまで解く)	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。(3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。)	90分

授業科目名	認知症ケア論				科目コード	W112-31			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ			担当教員名	井上 理絵 松島 紘子				
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を展開する。								
開講時期	2年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論			後継科目	ターミナルケア論				
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	20		40				110
LO-1	20	10							30
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症当事者の人の気持ちを推察する	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】テキストP123～P137までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP138演習	90分
第3回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症の人の行動の根拠を考える	120分
	【復習】認知症ケアに関する論文を読む	60分
第4回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（4）事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（2） 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第6回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（3） 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分

第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式	
	【予習】センター方式シートを理解する	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 ひもときシート	
	【予習】ひもときシートについて調べる	120分
	【復習】ひもときシートを理解する	60分
第15回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の進行に応じた介護	
	【予習】	90分
	【復習】園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法などについて理解を深める	90分